

3. 公園の利活用・適正化における基本的な考え方

3.1 目指すべき姿

本市には 264 箇所の公園がありますが、市全域や近隣市からの来訪者等の利用も期待できる広域性を持つ大きな公園から、日常的に利用されている身近な小さな公園等、その形態はさまざまです。公園は種別や特性により役割が分担されており、利用者は自分たちのライフスタイルに応じて、憩いやレクリエーション、健康づくり、散歩、スポーツ、災害時のオープンスペース等、暮らしの中で活用しています。

そのような暮らしにおいて、これまで人々が公園を利用しながら時間をかけて身に付けた生活スタイル、いわゆる「公園カルチャー（文化）」が培われてきました。

今後は人口減少や少子高齢化社会による社会情勢の変化、子育て世代が住みやすい生活環境づくりや高齢者の健康増進等のニーズの変化がさらに進んでいく中で、公園がある地域に居住している人の現在の生活だけではなく、公園を取り巻く地域のこれまでに積み重ねられてきた歴史やさまざまな知恵等も活かしていくことがさらに求められています。また、地域によっては、人口構成の変化に伴う公園に対するニーズの変化や同質の公園の集積等により公園が活用されていない状況もあり、将来の暮らしを想定した公園配置の見直しが必要となっています。

本計画は、地域の方が公園をさまざまに利用できる場所や機会を提供することによって、自分たちのライフスタイルに応じた生活の一部として公園を活用し、公園が「地域に愛される”暮らしを豊かにする空間”」となるように公園の適正化・利活用に取り組みます。また、地域全体の公園機能の向上により、地域力の発現の場として大きな力を発揮し、まちの暮らしの活力となり、豊川らしい新たな公園カルチャー（文化）が進化していくことを目指します。

そこで、本計画の目指すべき姿を以下のとおりとします。

**地域に愛される”暮らしを豊かにする空間”
としての公園の再生**

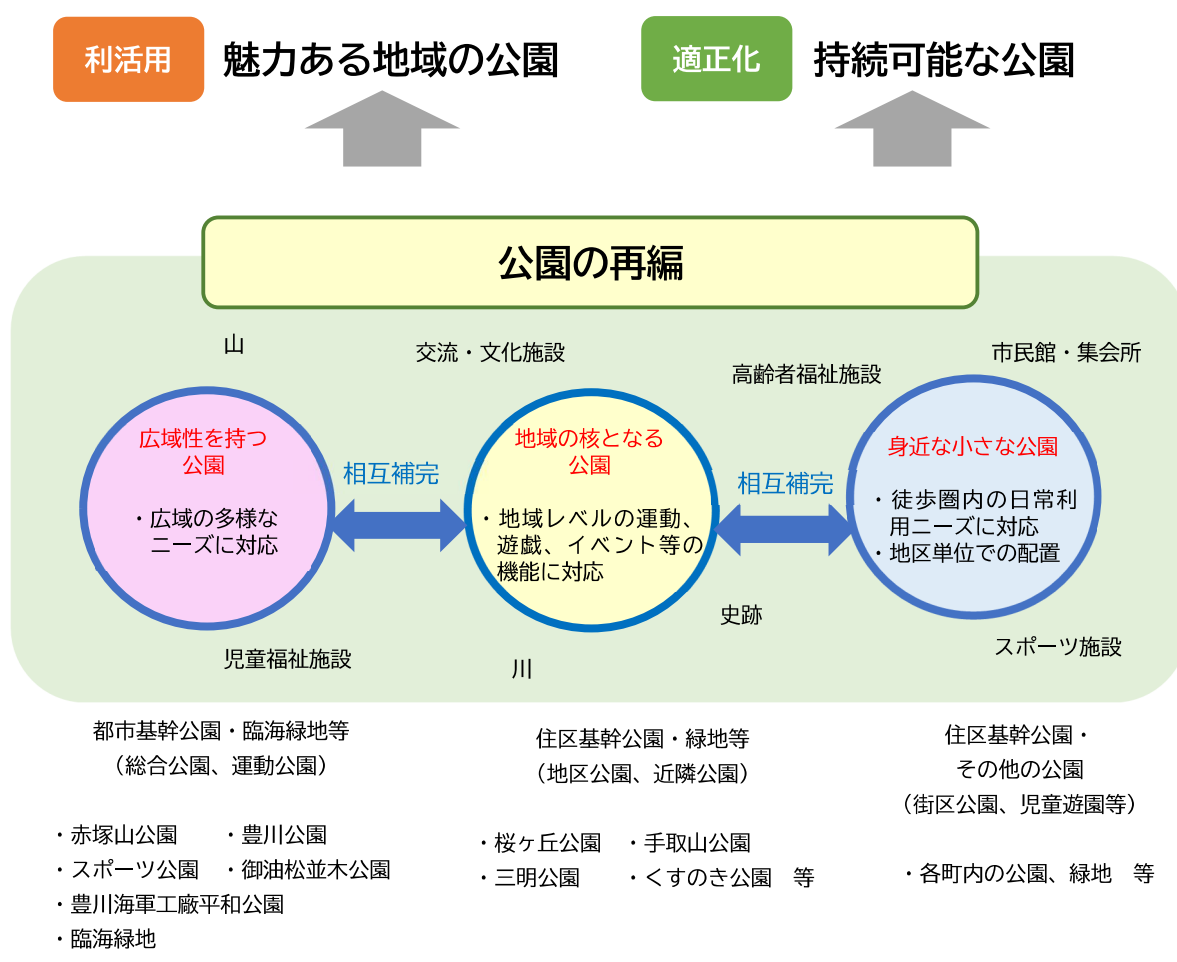
3.2 基本目標、基本方針

(1) 基本目標

目指すべき姿を踏まえ、各公園について「広域性を持つ公園」、「地域の核となる公園」、「身近な小さな公園」といった役割分担を行うことで、都市及び地域全体で利用者の目的に応じた公園の再編を実施します。

各公園の役割分担を図りながら、公園相互のネットワークや周辺に存在するまちの資源や公共施設、山や川等の自然との関連性を考慮することで地域全体のニーズを満ちし、持続可能な公園、魅力ある地域の公園の実現を目標とします。

この2つの目標を達成するために、魅力ある地域の公園に対して「市民満足度の向上」、持続可能な公園に対して「維持管理コストの縮減」の指標を設定し、事業の進捗を図ります。



(2) 基本方針

① 公園機能の適正な再配分

市域全体の公園機能の向上を図るため、公園機能の適正な再配分を行います。

[対応する主な課題]

課題1 量より質を高める公園整備

課題2 公園配置の見直し

課題3 利用実態に適合した機能配置

- ・まちづくりの方向性との整合を踏まえ、徒歩圏域を一つの範囲とし、その中で公園や類似機能のまとまりから機能を再配分することで地区全体の公園機能の向上を図り、市域全体の公園の魅力づくりにつなげます。
- ・地域の核となる大きな公園と身近な小さな公園で、規模に応じた適切な役割と機能の配置を行います。
- ・公園近辺に存在する自然資源や史跡、公共施設等、まちの財産とのネットワークや相互補完を図った配置を行います。
- ・機能の類似や周辺土地利用、人口状況、防犯面・防災面等の課題があり、今後も利用が見込めない公園については集約・統合により周辺の公共施設への活用や転用を検討します。

② 公園の利活用の推進

さまざまな人が使いやすく魅力ある公園となるように機能の向上や利活用の推進に取り組めます。

[対応する主な課題]

課題1 量より質を高める公園整備

課題2 公園配置の見直し

課題3 利用実態に適合した機能配置

課題4 公園が使いやすい柔軟な使い方の転換、利用機会づくり

課題7 公園に関わる活動団体への支援や負担軽減

- ・地区特性に応じて使いやすく魅力ある公園となるよう公園機能の充実を図ります。
- ・さまざまな人が、お互いに譲り合いながら気持ちよく公園を利用できるような柔軟な使い方への転換や、公園を利用する機会づくりに取り組みます。
- ・多様な利用者が年齢層や利用目的に応じ、それぞれの機会ですっきり利用できるよう、地区の特性に応じた各公園の機能特化を進めます。
- ・都市の景観や環境保全、防災等の公園が持つ存在機能によって得られる心理面の有益性を維持し、利用目的がない人も自然と訪れることができる場所に向けた整備に取り組めます。

③ 公園の柔軟な管理運営

既存ストックの効果的・効率的な改修の実施や官民連携を図った柔軟な管理運営を推進します。

[対応する主な課題]

課題2 公園配置の見直し

課題3 利用実態に適合した機能配置

課題4 公園が使いやすい柔軟な使い方の転換、利用機会づくり

課題5 更新時期にある公園の再整備

課題6 限られた財源を踏まえた整備、管理運営

課題7 公園に関わる活動団体への支援や負担軽減

- ・安全・安心・快適な公園利用につながる改修を優先しつつ、各公園の役割や機能に沿った改修を行います。
- ・既存ストックの再生・延命化、余剰機能の廃止等、効率的な管理を検討し、行政負担軽減を図ります。
- ・公園管理は、地域との合意に基づき、町内会との連携以外にも公園で活動する団体等も含めて協働を推進し、柔軟に対応できる体制を整えます。
- ・町内会や民間団体が公園を活用しやすくなるように活動支援等を検討します。
- ・多くの人が集まるような核となる公園には、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用する等、民間活力の導入を推進します。